# 日本宗教学会第 55 回学術大会

期 日 1996年 9 月 20 日 (金) ~ 22 日 (日) 会 場 國 學 院 大 学東京都渋谷区東 4 -10-28

#### お知らせ・お願い一

- 1. 受付で名札をお受け取り下さい。
- 2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
- 3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
- 4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします。
- 5. 研究発表のレジュメ (表紙・本文) は、部会責任者にお渡し下さい。
  - 締切 大会最終日(9月22日)15時50分

(以後の提出、訂正は一切受け付けません。)

- 枚数 題目・氏名を除いて400字詰縦書き原稿用紙 4 枚(1,600字)以内厳守。 字数を超過した場合は掲載できないこともございます。
- 本文 縦書き (ワープロ・パソコンでの印字も縦書き)。なるべくワープロを使用 して印字して下さい。手書きの場合は読みやすいよう丁寧に書いて下さい。 外国語表記は明瞭にお願いします。

図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。

- 6. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮下さい。
- 7. 会員休憩所に飲み物の用意があります。ご自由にご利用下さい。
- 8. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

電話 03-5466-0209

FAX 03-5485-0153

受 付

会員休憩室

日本宗教学会本部

学術大会本部

本館1階 ロビー

本館2階 会議室・第二会議室

本館2階 第17演習室

本館2階 第18演習室

## 日 程

#### 9月20日金

公開講演会	(百周年記念館4階)	14:00~15:30
「牛頭天王信仰につい	て-神仏習合の一類型とその発端」	
	國學院大學学長 上田賢治	
舞楽	( " )	15:45~16:45
学会賞選考委員会	(常磐松2号館 第2会議室)	14:00~15:30
理事会	(院友会館 地下ホール)	17:00~19:00
9月21日(土)		
開会式	(本館2階 207教室)	9:00~9:30
研究発表	(本館2階 201~210教室)	9:30~12:10
評議員会	(本館4階 401教室)	12:10~13:30
研究発表	(本館2階 201~210教室)	13:30~16:10
会員総会	(本館1階 105教室)	16:20 <b>~</b> 17:40
懇親会	(院友会館 地下ホール)	18:00~20:00
9月22日(日)		
研究発表	(本館2階 201~210教室)	9:00~11:40
『宗教研究』編集委員会	(常磐松2号館 第2会議室)	11:40~13:40
研究発表	(本館2階 201~210教室)	13:00~15:40
閉会式	(本館 2 階 207教室)	15:40~16:00

#### 第1部会(本館201)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)							
1.	F・de・クーランジュの古代ギリシャ宗教観	保	坂	幸	博	(東	海	大)
2.	否定神学の成立可能性をめぐって	星	Ш	啓	慈	(大	正	大)
3.	宗教批判の位相	深	澤	英	隆	(—	橋	大)
4.	神話学説史の構想	松	村	_	男	(天	理	大)
5.	信仰論	関		_	敏	(筑	波	大)
6.	「信仰」と「信心」	加	藤	智	見	(東	京工芸	大)
7.	宗教学をめぐる論争状況について	金	井	新	<u> </u>	(東		大)
8.	都市空間の宗教的意味について	荒	木	美智	引雄	(筑	波	大)
	9月21日(土) 午後(13:30~16:10)							
1.	初期ルソーの宗教観	山	崎		亮	(島	根	大)
2.	デュルケム聖俗論の思想史的位置	藤	原	聖	子		<b>上学術振</b> 身	興会)
3.	柳田国男の宗教論とデュルケーム	Л	田		稔	(名		大)
	暦における世界創造のイメージ	笹	尾	典	代	(筑	波	大)
	中心のシンボリズムと聖なる仲介者	平	良		直	(筑	波	大)
	聖とその解釈	~ 澤	井	義	次	(天	理	大)
7.	エリアーデの「聖なる世界」の再検討	佐	藤	壮	広	(立		大)
	宗教学の成立に関するエリアーデの解釈について	宇都		輝	夫	(北		大)
		•	_	•				,
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)							
1.	精神分析における物語行為と倫理的自己変革	堀	江	宗	正	(東		大)
	宗教的シンボリズムとしての身体と宇宙の照応	久化		将	之	(筑	波	大)
	宗教体験と光のシンボリズム	鵜	澤		潔	(筑	波	大)
	美的経験と宗教的経験	長	谷	武	久	大	正	大)
	意識構造と宗教現象 - C • G • ユングの受容をめぐって-	久	保	耕	司	(北		大)
	ユング心理学における宗教概念	青	木	智	子	(立	正	大)
	コラプションと原テクストー『日本霊異記』の場合ー	多	田	伊	織		一 8日本文化	
	日本近代化をめぐるヴェーバーとベラーとの間	池	田		昭	(中	京	大)
•						` '	<b>74</b> ·	, ,
	9月22日(日) 午後(13:00~15:40)							
1.	近代日本の宗教と戦争	菱	木	政	晴	(西	山 短	大)
	新世界の悪魔ー宗教と宗教研究における植民地主義の問題ー				子	(筑	波	大)
	区分された聖空間-徳川家光時代の江戸と儀礼-	曾			, 子		ンスト:	
	託宣の宗教現象学	望	月	幹	已	(筑	波	大)
	黄帝四面考-比較神話試論-	森	/1	雅	子	(慶		大)
	滝沢克己における身心論をめぐって		保			(大	正	大)
	宗教現象への接近ーピーター・バーガーの聖なる天蓋をめぐってー	永	見	тL	<b>一</b>	(立		大)
	宗教的目覚めの原態		城	康四		(東		大)
- •			//	14.7 F	-, -, -, -	(>14		/ •/

## 第2部会(本館202)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)							
1.	『ソクラテスの弁明』における正義と希望	箕	浦	恵	了	(大	谷	大)
2.	プラトン『メノン』における「神の恵み」について	和	田	義	浩	(早		大)
3.	中期プラトニズムにおける神ー『ディダスカリコス』第十章-	土	屋	睦	廣	(東	京工芸	芸 大)
4.	パスカルの一断章の神学的背景-「純粋本性」概念を巡って-	林	伸	_	郎	(大	谷	大)
5.	ベルクソンにおける「自由」について	森	田	恭	子	(京都	コンピュー	タ学院)
6.	メルロ=ポンティにおける「肉」と「ことば」	本	郷		均	(早		大)
7.	ポール・リクールの哲学と宗教	佐	々	木	啓	(弘	前学り	之 大)
8.	フランス理神論前史の―考察-メルセンヌ時代の様相-	玉	井		実	(東	京工芸	芸 大)
	9月21日(土) 午後(13:30~16:10)							
1	カントの宗教哲学	脇	坂	真	弥			
	カント、ヘーゲルのイエス論	氷	見		潔	(給	鹿国際	逐 大)
	後期シェーラーとドイツ観念論- y・ハルトマンを介して一	浅	野	博	之	(東	北北	大)
	シェーラーの自然的宗教論と人間の理念	宮	崎	真	矢		70	, ,
	常識哲学的信仰とヘーゲル	中	島	秀	憲	(九	産	大)
	ハイデッガーの死の思索の変遷と本質	小	野	,,	真	(京		大)
	前期ハイデガー思想における「言葉」の問題	松	本	直	樹	(,,		, ,
	ヤスパースの「狂信」批判-真正の無制約性をめぐる理性の闘い-	中	山	剛	史	(早		大)
		•	_			` '		, ,
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)							
1.	宗教哲学といふ立場-西田哲学を手がかりに-	廣	Ш	和	夫	(龍		大)
2.	西田幾多郎の「純粋経験」における「統一」の問題	安	藤	恵	崇	(高	知	大)
3.	後期西田哲学の生命論とJ・S・ホールデンの立場	森	本		聡	(近	畿	大)
4.	西田哲学における叡智的世界	岡		廣	_	(+	文字学	(園
5.	西田哲学と言葉の問題	藤	田	正	勝	(京		大)
6.	波多野精一の宗教哲学における象徴の概念	岡	田	直	丈	(東	神	大)
7.	ブロンデル『行為』と「反省」	岩	田	文	昭	(大	阪 教	大)
8.	M・K・ガンディーの近代化批判-A・ナンディーの見解-	葛	西		實	( I	С	U)
	9月22日(日) 午後(13:00~15:40)							
1.	共感について	右	山	忠	史	(大	阪 体	大)
2.	レヴィナスにおける主観性と存在	重	松	健	人	(京		大)
3.	宗教と絶対性について-宗教多元主義との関わりにおいて-	土	井		洋	(大	正	大)
4.	《哲学的神学》の諸問題-《啓示と理性》をめぐって-	掛	Ш	富	康	(茨坎	成キリス	ト教)
5.	キルケゴールの様相概念について	長	谷	修	孝	(法	政	大)
6.	ヘーゲルにおける和解概念	笠	井		貞	(東	洋	大)
	ハーケルにおりる仙畔似心	17.	71		_	(>14		
7.	ホワイトヘッドにおける自由の概念をめぐって	宮	野	升	宏	(大	正	大)

#### 第3部会(本館203)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)								
1.	平安時代の天文道書について	鈴	木		馨	(東	方瓦	开究	会)
2.	中世の陰陽師瞥見	米	井	輝	圭	(東			大)
3.	陰陽道と方位観	小	池	淳	_	(弘	育	íj	大)
4.	都市の陰陽師と村の陰陽師	林			淳	(愛	知為	学院	大)
5.	<b>楔教の行法</b>	荻	原		稔	(都立	江八王	子盲	学校)
6.	仙台藩における霞争いについて	伊	藤	辰	典	(東	;	Ł	大)
7.	修行論とシャーマニズム研究	中	山		郁	(國	學	院	大)
8.	当山修験正大先達衆の成立に関する一考察	宮	家		準	(慶			大)
	9月21日 (土) 午後 (13:30~16:10)								
1.	五十音に関する宗教思想について-真淵・宣長・秋成を中心に-	宮	本	晃	吉	(國	學	院	大)
2.	出口延佳における「神道」実践者の発見	森		和	也	(早			大)
3.	平田派国学者における脱亜思想に関する一考察	保	坂	俊	司	(麗	汽	#	大)
4.	国学者夏目甕麿の思想	河	村	孝	照	(身	延	山	大)
5.	日本の夢信仰-記紀風土記の夢-	河	東		仁	(東	京	高	専)
6.	日本宗教における「自然」概念の再検討	中	村	生	雄	(静	畄	県	大)
7.	近世初期の神社統制	石	倉	孝	祐	(神	奈	Ш	大)
8.	近郊農村における家庭内祭祀-千葉県佐原市仁井宿地区の事例-	磯	岡	哲	也	(淑	往	甚	大)
	9月22日 (日) 午前 (9:00~11:40)								
1.	9月22日(日) 午前(9:00~11:40) 大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察	宮	田	+~	<b></b>	(新)	、間主	義文化	と研)
1. 2.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察	宮海	田上	十二直	<b>寸穂</b> 士		【間主 立 M		
2.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察	_		-			立图	图 民	
2. 3.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績 - その関心領域と焦点 -	海	上	直	士	(国	立图	图 民	博)
2. 3. 4.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績-その関心領域と焦点- ヌミノーゼと神道の神	海中	上	直裕	士三	(国	立图	图 民	博)
2. 3. 4.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績-その関心領域と焦点- ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツ-青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能-鷺に関する舞・踊を例に-	海中椿	上野	直裕順	士三實	(国	立图	图 民	博) 大)
2. 3. 4. 5.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績-その関心領域と焦点- ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツ-青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能-鷺に関する舞・踊を例に-	一海中椿永	上野 原山	直裕順	士三實子郎	(国 (國 (京	立 M 學	を 民 院	博) 大) 大)
2. 3. 4. 5. 6.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績 - その関心領域と焦点 - ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能 - 鷺に関する舞・踊を例に - 中世縁起の主張に関する一考察	一海中椿永白	上野 原山	直裕 順芳久	士三實子郎	(国 (國 (京 皇	立學學	を 民 院 館	博) 大) 大) 大)
2. 3. 4. 5. 6.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績 - その関心領域と焦点 - ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能 - 鷺に関する舞・踊を例に - 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例から -	一海中椿永白八	上野 原山木	直裕 順芳久	士三實子郎手	国國 京皇東	立學學京	医院 館外	博 大 大 大 大 大
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績 - その関心領域と焦点 - ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能 - 鷺に関する舞・踊を例に - 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例から - カルト・原理主義と暴力の正当化	一海中椿永白八	上野 原山木	直裕 順芳久	士三實子郎手	国國 京皇東國	立學學京	医院 館外院	博大       大大大
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績 - その関心領域と焦点 - ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例に - 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例から - カルト・原理主義と暴力の正当化 9月22日(日) 午後(13:00~15:40)	一海中椿永白八阿	上野 原山木部	直裕 順芳久	士三實子郎子哉	国國 京皇東國	立學 學京學 學	医院 館外院	博大 大大大大
2 3. 4 5 6 7 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績ーその関心領域と焦点ー ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例にー 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例からー カルト・原理主義と暴力の正当化  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 祭における「意味」の自覚ーその作用と背景に関する事例報告ー	一海中椿永白八阿 島	上野 原山木部 田	直裕 順芳久美	士三實子郎子哉 潔	国國 京皇東國 國	立學 學京學 學才	医院 館外院 院	博大 大大大大 大
2 3 4 5 6 7 8	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績ーその関心領域と焦点ー ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例にー 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例からー カルト・原理主義と暴力の正当化 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 祭における「意味」の自覚ーその作用と背景に関する事例報告ー 平安貴族の生活感覚における神仏の姿	一海中椿永白八阿 島繁	上野 原山木部 田田	直裕 順芳久美	士三實子郎子哉 潔一	国國 京皇東國 國東	立學 學京學 學才	型院 館外院 院 外民	博大         大大大大         大大
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績ーその関心領域と焦点ー ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例にー 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例からー カルト・原理主義と暴力の正当化  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 祭における「意味」の自覚ーその作用と背景に関する事例報告ー 平安貴族の生活感覚における神仏の姿 「民族」意識の形成をめぐって一宗教社会学的観点から一	一海中椿永白八阿 島繁丹	上野 原山木部 田田羽	直裕 順芳久美	士三實子郎子哉 潔一泉	国國 京皇東國 國東東大	立學 學京學 學 京	型院 館外院 院 外民院	博
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察西角井正慶の業績ーその関心領域と焦点ーヌミノーゼと神道の神赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例にー中世縁起の主張に関する一考察ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例からーカルト・原理主義と暴力の正当化  9月22日(日) 午後(13:00~15:40)祭における「意味」の自覚ーその作用と背景に関する事例報告ー平安貴族の生活感覚における神仏の姿「民族」意識の形成をめぐって一宗教社会学的観点から一神宮寺創建譚に見える〈業〉語の問題	一海中椿永白八阿 島繁丹小新遠	上野 原山木部 田田羽村保藤	直裕 順芳久美 信	士三實子郎子哉 潔一泉出	(()((()(((((()))()()()()()()()()()()()	立學 學京學 學 京 路學	<b>医</b> 整外院	博为
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4. 6. 7. 8.	大和民族宗教原始神道原始以来全人類生命同一体に関する考察 西角井正慶の業績ーその関心領域と焦点ー ヌミノーゼと神道の神 赤米のルーツー青竜三年銘魏鏡について 日本人の魂と芸能一鷺に関する舞・踊を例にー 中世縁起の主張に関する一考察 ナショナリズムとマイノリティーエジプトの事例からー カルト・原理主義と暴力の正当化  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 祭における「意味」の自覚ーその作用と背景に関する事例報告ー 平安貴族の生活感覚における神仏の姿 「民族」意識の形成をめぐって一宗教社会学的観点から一 神宮寺創建譚に見える〈業〉語の問題 刀剣における宗教性の考察ー神道・仏教との関係ー	一海中椿永白八阿 島繁丹小新	上野 原山木部 田田羽村保藤野	直裕 順芳久美 信 孝	士三實子郎子哉 潔一泉出哲	((((((((((((())))。 (())。 (())。 (())。 (())。 ()。 (	立學 學京學 學 京 路學 浴	香 館外院 比 E蜀 房民院 館外院 院 外 協院	博大

#### 第4部会(本館204)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)					
1.	ローマ帝政初期の宗教事情	小	堀	馨	子	(東 大)
2.	『箴言』に見る宗教の諸形態-アルベルツ『宗教史』の批判的考察-	加	藤	久美	美子	(東 大)
3.	古代イスラエルにおける王権と宗教	山	我	哲	雄	(北 星 学 園 大)
4.	イエスと被差別民衆	滝	澤	武	人	(桃山学院大)
5.	アウグスティヌスにおける「被造物」の在り方について	菊	地	伸	_	(名古屋柳城短大)
6.	「神の計画」と「エチカの計画」-スピノザ論-	環		栄	賢	
7.	ライプニッツとアダムの言語	畄	部	英	男	(東京音大)
8.	宗教のグローバル化と教典の機能	土	屋		博	(北 大)
	9月21日(土) 午後(13:30~16:10)					
1	トマス・アクィナスにおける分離した魂の認識について	岸		英	司	(英 知 大)
	C • シュヴェンクフェルトの歴史理解と宗教的寛容	木	塚	隆	志	(日本学術振興会)
	ドイツ敬虔主義における「私的信仰圏」の生成	蝶	野	立	彦	(早 大)
	前期ティリッヒ神学とドイツ観念論	芦	名	定	通	(京 大)
	P・ティリッヒにおける意味の形而上学	今		尚	生	(京 大)
	「有限性」についてーティリッヒ『組織神学』-	•	部	哲	夫	(文教女短大)
	神の啓示と人間の実存-マルティン・ブーバーの視点-	大		武	雄	(早大)
	M・ブーバーとシオニズム			禮		(大阪体大)
			\	,	•	
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)					
1.	始まりの彼方に-J・ベーメの神秘主義的思惟の稜線	山	下		豊	(大阪音大)
2.	ウェスレーにおける諸宗教との対話					
	フェスレ にもりる昭小教との内田	野	村		誠	(共愛学園女短大)
3.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ー	野木	村田	理	誠文	(共愛学園女短大) (文化伝承研究センター)
				理木		
4.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾-イギリス革命とランターズ運動-	木佐	田		文	(文化伝承研究センター)
4. 5.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾-イギリス革命とランターズ運動- カール・バルトの神論をめぐって	木佐	田々	木	文 徹	(文化伝承研究センター) (シ オ ン 短 大)
4. 5. 6.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾-イギリス革命とランターズ運動-カール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観	木佐木	田々原	木	文徹恭	(文化伝承研究センター) (シ オ ン 短 大) (近 畿 大)
4. 5. 6. 7.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾―イギリス革命とランターズ運動―カール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方	木佐木市	田々原川	木範	文徹恭裕	(文化伝承研究センター) (シ オ ン 短 大) (近 畿 大) (東 大)
4. 5. 6. 7.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾―イギリス革命とランターズ運動―カール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学 プロテスタントとキリシタン―信仰生活における一大相違点―	木佐木市尾	田々原川崎	木範	文徹恭裕彦	(文化伝承研究センター) (シ オ ン 短 大) (近 畿 大) (東 大) (明 大)
4. 5. 6. 7. 8.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー 9月22日(日) 午後(13:00~15:40)	木佐木市尾青	田々原川崎山	木範和	文徹恭裕彦玄	(文化伝承研究センター)       (シ オ ン 短 大)       (近 畿 大)       (東 大)       (明 大)       (南 山 大)
4. 5. 6. 7. 8.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー 9月22日(日) 午後(13:00~15:40)	木佐木市尾青 黒	田々原川崎山  川	木範和	文徹恭裕彦玄 文	(文化伝承研究センター) (シ オ ン 短 大) (近 畿 大) (東 大) (明 大) (南 山 大) (愛 知 教 大)
4. 5. 6. 7. 8.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割	木佐木市尾青 黒岸	田々原川崎山 川野	木範 和 知	文徹恭裕彦玄 文久	(文化伝承研究センター)       (シォン短大)       (近 畿 大)       (東 明 山 大)       (南 山 教短       (桐 朋 短
4. 5. 6. 7. 8.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学 プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割 「キリストの幕屋」における祖霊供養	木佐木市尾青 黒岸三	田々原川崎山 川野木	木範 和 知 真	文徹恭裕彦玄 文久弓	(文化伝承研究センター)       (シォ 畿
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割 「キリストの幕屋」における祖霊供養 ミッション・スクールの担い手とその諸相	木佐木市尾青 黒岸三雨	田々原川崎山 川野木貝	木範 和 知 真行	文徹恭裕彦玄 文久弓麿	(文化伝承研究センター)       (シォン短大)       (近 畿 大)       (東 明 山 大)       (南 山 教短       (桐 朋 短
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4. 5.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割「キリストの幕屋」における祖霊供養ミッション・スクールの担い手とその諸相 林耕之について	木佐木市尾青 黒岸三雨横	田々原川崎山 川野木貝手	木範 和 知 真行征	文徹恭裕彦玄 文久弓麿彦	(文化伝承研究センター)       (シ 近東明南 知朋 波学 短 カリカー)       (本 ) 近東明南 知朋 波学 別
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4. 5. 6.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割「キリストの幕屋」における祖霊供養ミッション・スクールの担い手とその諸相 林耕之について 大主教ニコライの日本理解ー入信の儀式を中心に一	木佐木市尾青 黒岸三雨横尾	田々原川崎山 川野木貝手田	木範 和 知 真行征泰	文徹恭裕彦玄 文久弓麿彦彦	(文化伝承研究センター)       (シ 近東明南       (財明南       (財明本)       (財明本)       (財明本)       (財明本)       (財明本)       (財子)       (リース・リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	聖霊の千年王国と酒場での騒擾ーイギリス革命とランターズ運動ーカール・バルトの神論をめぐって 新英語訳聖書の翻訳に見られる終末観 聖書における神的強制と自発的熱情のあり方 C・J・ボストレームにおけるスウェーデン観念論の宗教哲学プロテスタントとキリシタンー信仰生活における一大相違点ー  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 1881年ポグロムの宗教的性格 ザビエル宣教団におけるアンジローの位置と役割「キリストの幕屋」における祖霊供養ミッション・スクールの担い手とその諸相 林耕之について	木佐木市尾青 黒岸三雨横	田々原川崎山 川野木貝手田石	木範 和 知 真行征	文徹恭裕彦玄 文久弓麿彦	(文化伝承研究センター)       (シ 近東明南 知朋 波学 短 カリカー)       (本 ) 近東明南 知朋 波学 別

#### 第5部会(本館205)

	9月21日 (土) 午前 (9:30~12:10)								
1.	Gandavyūhaにおける船師ヴァイラの法門	小	林	圓	照	(花		東	大)
2.	Nyāya学派の普遍と非存在-TS、TSP 第13章に関して-	村	上	晃		(筑	ì	皮	大)
3.	シャバラスヴァーミンの引用するヴリッティカーラの見解	寺	石	悦	章	(筑	ì	皮	大)
4.	Bhaktīsmという宗教潮流の原初形態について	關	戸	法	夫	(東	方石	研究	会)
5.	Atīsaの『経義集説示』にみられる五十の教え	望	月	海	慧	(立	j	E.	大)
6.	散佚したGosālaの教説-アージーヴィカ教再考-	渡	辺	研	<u>-</u>	(淑	徳	短	大)
7.	Brahmasiddhi第3章についての一考察	黒	田	泰	司	(大	阪 :	学 院	大)
8.	Vyomavatīにおける観念論との論争	村	上	真	完				
	9月21日 (土) 午後 (13:30~16:10)								
1.	釈尊出家直前の「四願」について-ラリタヴィスタラにおける-	外	薗	幸	_	(鹿	児島	経済	大)
2.	唯識思想のインド哲学史的背景	今	西	順	吉	(国)	《仏教	学大学	院大)
3.	説法による救い-倶舎論諸註釈を通して-	現	銀名	史	明	(東	ì	羊	大)
4.	ラーマーヌジャによるシュードラ排除の論理と不二―元論批判	木	村	文	輝	(愛	知:	学 院	大)
5.	『阿毘曇心論』「業品」における威儀戒について	智	谷	公	和	(相	ġ	愛	大)
6.	未断の聖者の邪見について-阿毘達磨論書の立場から-	遠	藤	信	_	(東	ì	详	大)
7.	敦煌本アビダルマ諸抄の一考察	本	多	至	成	(相	ě	愛	大)
8.	『仏国記』等インド旅行記に見られる戒律について	森		章	司	(東	ì	洋	大)
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)								
1.	9月22日(日) 午前(9:00~11:40) 曇鸞浄土教における名号観	常	光	香	誓	(龍			大)
1. 2.	曇鸞浄土教における名号観	常青	光木	香	誓健	(龍 (東			大) 大)
2.	曇鸞浄土教における名号観	青	木	香	健				
2. 3.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」	青	木		健	(東			大) 大) 大)
2. 3. 4.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について	青ジョ	木 アキン・	モンテ	健	(東 (駒		重	大) 大)
2. 3. 4. 5.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって	青ジョ加	木 アキン・ 藤	モンテ	健但生	(東 (駒 (龍		重女	大) 大) 大)
2. 3. 4. 5.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について	青ジ加斎	木 アキン・ 藤	モンテ 利	健心生明	(東 (駒 (龍 (三	谷		大 大 大 大
2. 3. 4. 5. 6. 7.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について	青沙加斎秦	オップ 藤藤	利治	健心生明人	東り龍三大	谷	女 谷	<b></b>
2. 3. 4. 5. 6. 7.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(saṃvṛti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について 華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって	青シ加斎秦織	木 タキンタ 藤 藤田	もみず利治顕	健心生明人祐	東駒龍三大大	谷	女 谷	<b></b>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について 華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって 弘福寺別当について	青シ加斎秦織	オン藤藤 田内	も 利 治顕孝	健心生明人祐	東駒龍三大大	谷野	女 谷	<b></b>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	<ul> <li>会鸞浄土教における名号観</li> <li>中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」</li> <li>『成実論』における二諦について</li> <li>律儀不律儀色をめぐって</li> <li>世俗(saṃvṛti)の真理性をめぐって</li> <li>善導の如来蔵思想批判について</li> <li>華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって-</li> <li>弘福寺別当について</li> <li>9月22日(日) 午後(13:00~15:40)</li> </ul>	青沙加斎秦織武	オン藤藤 田内	も 利 治顕孝	健心生明人祐善	(東)龍三大大高	谷野	女 谷	<ul><li></li></ul>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	<ul> <li>会党浄土教における名号観</li> <li>中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について</li> <li>律儀不律儀色をめぐって</li> <li>世俗 (saṃvṛti) の真理性をめぐって</li> <li>善導の如来蔵思想批判について</li> <li>華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐってー</li> <li>弘福寺別当について</li> <li>9月22日(日) 午後(13:00~15:40)</li> <li>源信の菩提心と往生に関する一考察</li> </ul>	青氵加斎秦織武 若	オキ藤藤 田内 園	モンテ 利 治顕孝 善善	健 化生明人祐善 聡	(東駒龍三大大高 龍	谷野	女 谷 山	<ul><li></li></ul>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	<ul> <li>会党・土教における名号観</li> <li>中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」</li> <li>『成実論』における二諦について</li> <li>律儀不律儀色をめぐって</li> <li>世俗(samvrti)の真理性をめぐって</li> <li>善導の如来蔵思想批判について</li> <li>華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって-</li> <li>弘福寺別当について</li> <li>9月22日(日) 午後(13:00~15:40)</li> <li>源信の菩提心と往生に関する一考察</li> <li>源信の『阿弥陀経略記』について</li> </ul>	青氵加斎秦織武 若內	オキ藤藤 田内 園藤臣	モンテ 利 治顕孝 善善	健们生明人祐善 聡亮	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	谷野	女 谷 山	<ul><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li>&lt;</ul>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	会党浄土教における名号観中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について 華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって- 弘福寺別当について  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 源信の菩提心と往生に関する一考察 源信の『阿弥陀経略記』について 法然と親鸞における思想受容の一考察	青氵加斎秦織武 若内中	オキ藤藤 田内 園藤臣	せが利 治顕孝 善円 一	健心生明人祐善 聡亮至	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	谷野	女 谷 山 谷	<ul><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li><li>(大)</li>&lt;</ul>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.  1. 2. 3. 4. 5.	曇鸞浄土教における名号観 中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について 華厳教学と『十地経論』−六相説をめぐってー 弘福寺別当について  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 源信の菩提心と往生に関する一考察 源信の『阿弥陀経略記』について 法然と親鸞における思想受容の一考察 法然における「総別の二義」解釈	青氵加斎秦織武 若内中那	オキ藤藤 田内 園藤臣須	せが利 治顕孝 善円 一	健心生明人祐善 聡亮至雄	((((((((((((((())))) ()), ())) ()), ()), ()), ()), ()),	谷野	<ul><li>谷</li><li>会</li><li>会</li><li>者</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li><li>会</li>&lt;</ul>	<ul><li>人力大力大力</li><li>人力大力大力</li><li>人力大力</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力、</li><li>人力</li></ul>
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.  1. 2. 3. 4. 5. 6.	会党予土教における名号観中世インドの「イスラーム的ゾロアスター教」 『成実論』における二諦について 律儀不律儀色をめぐって 世俗(samvrti)の真理性をめぐって 善導の如来蔵思想批判について 華厳教学と『十地経論』 - 六相説をめぐって 弘福寺別当について  9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 源信の菩提心と往生に関する一考察 源信の『阿弥陀経略記』について 法然と親鸞における思想受容の一考察 法然における「総別の二義」解釈 醍醐寺蔵『法然上人傳記』の法語について	青氵加斎秦織武 若内中那真	オキ藤藤 田内 園藤臣須柄田木	ギン 利 治顕孝 善円 一和	健心生明人祐善 聡亮至雄人順淳	((((((((((((((())))) ()), ())) ()), ()), ()), ()), ()),	谷野土真	谷 谷 宗教	<ul><li>人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人</li></ul>

# 第6部会(本館206)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)									
1.	象徴としての火行	玉	木	興	慈	(龍		大)		
2.	『教行信証』「信巻」所引深心釈について	大	神	栄	治	(大	谷	大)		
3.	薩摩大隅八幡と日秀上人の活動	根	井		浄	(神〕	三常磐魚	(大)		
4.	貞慶と良遍の戒律観の相違点について	城	福	雅	伸	(龍		大)		
5.	如来の子	星	名	万	美	(大	谷	大)		
6.	『大鏡』からみた院政期の仏教	藤	原	正	己	(佛	教	大)		
7.	仏教教義の固定化の長短	鞆	津	照	信	(龍		大)		
8.	近代における精神主義の意義	藤	原	正	寿	(真宗	(真宗大谷派教学研)			
	9月21日 (土) 午前 (13:30~16:10)									
1.	親鸞の人間観について	堀		祐	彰					
2.	親鸞における「今」について	武	田	未	<b>K雄</b>	(大	谷	大)		
3.	親鸞における時間の問題	安	藤	章	仁	(龍		大)		
4.	親鸞における法然の念仏思想の受容と展開	貫	名		譲	(龍		大)		
5.	親鸞における御消息の意義	塚	田	博	教	(龍		大)		
6.	親鸞の『阿弥陀経』観	平	原	晃	宗	(大	谷	大)		
7.	親鸞における誓願-仏乗と仏性	$\equiv$	明	智	彰	(大	谷	大)		
8.	『釈浄土群疑論』に説かれる本願力の考察	村	上	真	瑞.	(佛	教	大)		
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)					4-44-4				
	親鸞における信の問題-『選択集』との呼応を通して-				円		大谷派教			
	歎異抄における自然の概念	西	田	真	因		大谷派教			
	出世本懐論-親鸞と存覚-	青	山	法	城	(龍		大)		
	親鸞におけるアイデンティティ形成の問題	毛	利	勝	典	(龍		大)		
	親鸞の信心観について	中	山	彰	信		主学園短			
	C・R・ロジャーズと蓮如-その対人的態度をめぐって-	吾	勝	常	行	(龍		大)		
	死と無常の接点-蓮如の『御文』を中心に-	吉	田	宗	男					
8.	真宗と儒教倫理	菊	藤	明	道	(京	短	大)		
	9月22日 (日) 午前 (13:00~15:40)									
1.	時衆教団成立史の一考察	古	賀	克	彦	(国府	<del>行台女子</del>	学院)		
2.	真宗における小児往生について	大	洲	誠	史	(龍		大)		
3.	『妙貞問答』における浄土の考察	御号	手洗	隆	明	(大	谷	大)		
4.	曽我量深における浄土的宗教観	中	山	_	萱	(京	産	大)		
5.	清沢満之と『言志録』	松	岡	雅	則	(大	谷	大)		
6.	宗教と教育-清沢満之の場合-	大	城	邦	義	(大	谷 短	大)		
7.	鈴木大拙と『教行信証』	和	田	真	$\vec{-}$					
8.	山寺「夜行念仏」の信仰	渡	辺	喜	勝	(東	北	大)		

#### 第7部会(本館207)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)							
1.	『大乗荘厳経論』における無分別智について	村	田	達	央	(立	正	大)
2.	四種沙門について	上	田	愉э	€子	(龍		大)
3.	見性の心理構造-白隠を中心に-	沖	永	宜	司	(京		大)
4.	慶長期芸能・文化の宗教的側面	丸	茂	湛	祥	(立	正	大)
5.	薩摩における曹洞宗-島津氏との関係について-	佐	藤	悦	成	-	知学院短	
6.	曹洞宗と国家-明治期「台湾布教」の目的	I	藤	英	勝			- , ,
	明治期曹洞宗の地方僧堂について	熊	本	英	人	(曹)	洞宗宗学	好)
8.	臨済における「忘」について	荒	Ш	元	暉	(正		大)
	9月21日(土) 午後(13:30~16:10)							
1	文献学から見た日蓮遺文	小	林	正	博	(亩	洋哲学	HT)
	日本仏教思想における「鏡」-日蓮を中心として-	三	輪	是	法	(身	延山	大)
	明治初期日蓮教団の動向-教団再編成を中心に-	安	中	尚	史	(立	正	大)
	妙楽大師湛然の「内薫自悟仏」をめぐる問題	田田	村	完	爾	(立	正正	大)
	ハワイにおける日系宗教の現状と課題-伝統仏教教団の場合	黒	崎	浩	行	(東	外	大)
	ハワイにおける日系宗教の現状と課題-伝統仏教教団の場合	水	谷	浩	志		土宗総合	
	ハワイにおける日系宗教の現状と課題-日系キリスト教会の場合	万戸	松	義	晴	(大	正正	大)
	ハワイにおける日系宗教の現状と課題-仏教系新宗教の場合	武	田田	道	生	大	正	大)
٥.	THE STANDARD MAN MAN TO STAND THE STANDARD STAND	Щ	щ	Æ			-11	/()
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)							
1.	三品悔過における宗教儀礼	藤	近	恵	市	(大	正	大)
2.	龍燈伝承と聖地	藤	井	弘	章	(京		大)
3.	近世前期の葬送-文銀二年『無縁集鎮西聖光上人』-	神	居	文	彰	(佛	教	大)
4.	宮沢賢治の菩薩道-利他行の生涯-	新井	‡野	洋	子	(立	正	大)
5.	『儀禮』士冠禮における宗教儀禮について	栗	原	圭	介	(大	東文化	大)
6.	「死者崇拝」の諸相	木	村	敏	明	(東	北	大)
7.	仏壇・位牌信仰について-仏教的力の系譜学-	須	藤	寛	人	(駒		大)
8.	仏教の民間受容と「互酬性の倫理」	池	上	良	正	(筑	波	大)
	9月22日(日) 午後(13:00~15:40)							
1.	聖なる共同体としての家族	宮	本	要え	と郎	(筑	波	大)
	「水子供養」の発生	鳥	井		己子	(東	海	大)
	新聞読者欄にみる葬儀についての意識の変化	村		興	匡	(文	化	庁)
	市原市寺谷地区の遺跡をめぐって	長		弘	晃		野国際情報	
	鎌倉時代、仏教諸宗祖の食物観	目	黒	き	よ	(立	正	大)
	立正安国会の教団組織形成について	大			_	(東		大)
	准提鏡壇について	服	部	法	照	(大	正	大)
8.	復檀家制成立の基盤-檀那寺と息災寺-	櫻	井	徳ス	大郎			

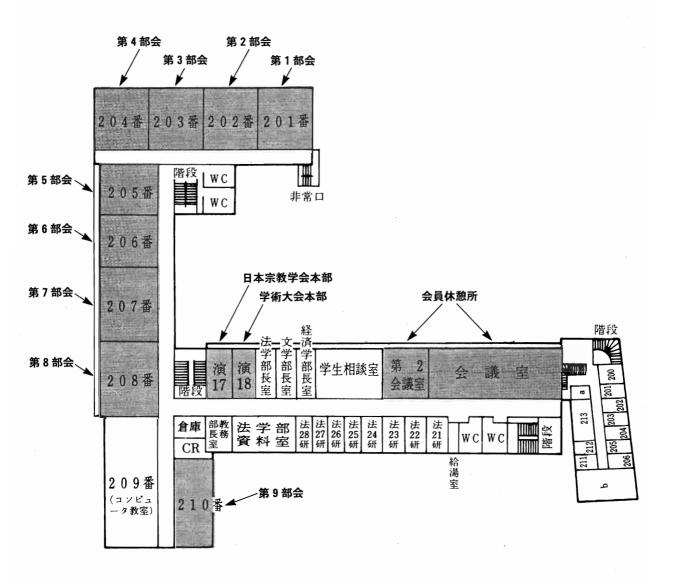
#### 第8部会(本館208)

	9月21日(土) 午前(9:30~12:10)									
1.	韓国古代山岳伽藍の配置と思想	李			興	範	(立	正	J	大)
2.	韓国における巫俗と仏教-ポサルと呼ばれる職能者を中心として-	Щ	上	: :	新	$\equiv$	(國	學	院プ	大)
3.	韓国の〈水子霊〉	渕	上	: :	恭	子	(杏	林	<sup>→</sup>	大)
4.	浄瓶と瓶水	李		1	乾	熙	(日2	本韓国	仏教研	开)
5.	東学とアジア主義	Ш	潮	1	貴	也	(東		<sup>→</sup>	大)
6.	台湾先住民族の宗教生活の現状-予備的調査の報告を中心に	山	本	<b>.</b> :	春	樹	(天	理	<sup>→</sup>	大)
7.	ケラマのあか島に於ける「ハマウリ」について	玉	置		長	衛	(天	理	<sup>7</sup>	大)
8.	沖縄県宮古郡上野村のカマド神信仰	窪		:	徳	忠				
	9月21日(土) 午後(13:30~16:10)									
1.	タイ小乗仏教とキリスト教ーニルヴァナの意味-	坂	本	ī		進	(アサ	トンプシ	/ョンフ	大)
	〈開放系の神〉としてのプルシャ(原人)	津			眞	_		仏教学		
	ウィリアム・ジョーンズとインド学の展開	富	澤		か	な	(東	,		大)
4.	ゾロアスター教徒パーシーの聖なる火と集団構造	中	別	府	温	和	(宮	崎	公プ	<del>(</del> )
5.	ネパールのマンダラ儀礼	山		L	の	5:	(名		7	<del>(</del> )
6.	カースト制とインド宗教	宮	岭	f :	智	恵	(立	正	J	<del>(</del> )
7.	三猿信仰の分布と起源	中	牧	(	弘	允	(国	立	民博	尃)
8.	トラホムルコのマリアと三王の祭り-カトリックの祭りの構造-	野	村	† 1	暢	清	(久	留	米 ナ	大)
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)									
1.	ルルドにおける「奇蹟」と「癒し」	寺	戸	î ;	淳	子	(HZ	<b>本学術</b>	振興名	<u>رچ</u>
	スリランカのアランニャ考	小	島		敏	, 広		京女丿		
٠.		•	-	,	-		( ) /		V 113 1-	٠,
3.	医療における宗教的治療戦略	宮	地	つ	か	さ				
	医療における宗教的治療戦略 臓器移植と生命倫理	宮金	地		か 永		(大	正	J	է)
4.	医療における宗教的治療戦略 臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について			;	か永正	さ晃英	(大 (駒	正		t) t)
4. 5.	臓器移植と生命倫理	金	部	3	永	晃			J	
4. 5. 6.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について	金渡	部	3 :	永 正	晃 英	(駒	學	ナ 院 ナ	<b>(</b> )
4. 5. 6. 7.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題	金渡金	部子	3 :	永正善	晃英光	(駒 (國	學	プ 院 館 ナ	t) t)
4. 5. 6. 7.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀-干拓地農村の事例- 宗教風土と環境倫理	金渡金櫻	部子井	3 :	永正善	晃英光男	(駒 (國 (皇	學	プ 院 館 ナ	ととと
4. 5. 6. 7. 8.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀-干拓地農村の事例- 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40)	金渡金櫻薗	部子井田	3 :	永正善治	晃英光男稔	(駒國) (皇) 京	學	プ 院 対 対	とととと
4. 5. 6. 7. 8.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀-干拓地農村の事例- 宗教風土と環境倫理	金渡金櫻	部子井田井	3 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	永正善治教	晃英光男稔 章	( )	學学	だけ オナナーナ	ととと
4. 5. 6. 7. 8.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀ー干拓地農村の事例ー 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 墓の象徴論-東京都を主たる事例として	金渡金櫻薗 横渡	部子井田井		永正善治教明	晃英光男稔	· 動國皇京 · 動大	學	だり オオー・オナ	けいけい けい
4. 5. 6. 7. 8.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀-干拓地農村の事例- 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 墓の象徴論-東京都を主たる事例として 悪のトポイ・カタログ(一覧表)について	金渡金櫻薗 横渡	部子井田 井辺		永正善治教明	晃英光男稔 章照	<b>駒國皇京</b> 駒大関	學学	院館 院別	<b>いとと</b> ひとと
4. 5. 6. 7. 8.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀ー干拓地農村の事例ー 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 墓の象徴論ー東京都を主たる事例として 悪のトポイ・カタログ(一覧表)について 古代西洋文学における怪物の意味	金渡金櫻薗 横渡長菊	部子井田 井辺井池		永正善治 教明英	晃英光男稔 章照子	等 動國皇京 動大関礪	學学正学	院館 アプラブラ	<b>かいとり とりり</b>
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀-干拓地農村の事例- 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 墓の象徴論-東京都を主たる事例として 悪のトポイ・カタログ(一覧表)について 古代西洋文学における怪物の意味 布と宗教	金渡金櫻蘭 横渡長菊春	部子井田 井辺井池日		永正善治 教明英	晃英光男稔 章照子武英	等 動國皇京 動大関礪	學学 正学立	院館 院村園 院村園	<b>かいとり とりり</b>
4. 5. 6. 7. 8. 1. 2. 3. 4. 5.	臓器移植と生命倫理 秋葉信仰と世話人の立場について 都市神社の課題 新しい共同体の形成と神社祭祀ー干拓地農村の事例ー 宗教風土と環境倫理 9月22日(日) 午後(13:00~15:40) 墓の象徴論ー東京都を主たる事例として 悪のトポイ・カタログ(一覧表)について 古代西洋文学における怪物の意味 布と宗教 花祭の神話的構造について一飾りつけ、祭文を中心にして一	金渡金櫻蘭 横渡長菊春	部子井田 井辺井池日		永正善治 教明英 真	晃英光男稔 章照子武英	()(((((())) 動國皇京 動大関礪東	學学正学立学正学立学	だ館 院村園 院村園	

#### 第9部会(本館210)

	9月21日 (土) 午前 (9:30~12:10)								
1.	「崔浩と寇謙之」再考	春	本	秀	雄	(大	Ī	:	大)
2.	後漢期の祭祀観について	清	水	浩	子	(大	ΙĪ	=	大)
3.	古代中国の祭祀における仲介者となる鬼神の要素	池	澤		優	(東			大)
4.	一貫道の現代化と華人都市中産階級	熊	田	_	雄	(愛	知肖	之院	大)
5.	明治後期日本の「宗教」に関する一考察	福	嶋	信	吉	(東			大)
6.	大都市における先祖祭祀と社会移動の関連	松	本 E	白紀	子	(東			大)
	新宗教への入信過程-社会学的アプローチの検討-	伊	藤	雅	之	(%)	シル	バニフ	ァ大)
	「ケガレ」という概念に関する現象学的一試論	笠	井	Œ	弘	(西	日本	短	大)
•			,		-				
	9月21日 (土) 午後 (13:30~16:10)								
1.	オウム真理教への研究者の関与について	尾	堂	修	司	(浄:	上真岩	<b>科学</b>	⁄研)
2.	オウム真理教における「悟り」と「解脱」-体験談の分析から-	弓	山	達	也	(日2	本学徒	<b>万振</b> 勇	(会)
3.	私的な物語と現代の神話-占いとニューエイジをめぐって-	鈴	木化	建太	郎	(東			大)
4.	日本近現代における心身実践と思想	前	Ш	理	子	(東			大)
5.	現代社会とカリスマ的指導者	長	崎	誠	人	(京			大)
6.	生長の家における癒しの動態	冨	永	建太	郎	(筑	Ò	支	大)
7.	アメリカにおける禅理解	浅	井	宣	亮	(愛	知当	学院	大)
8.	フランス議会での反セクト報告をめぐる考察	中	野		毅	(創	伯	Ei	大)
	9月22日(日) 午前(9:00~11:40)								
1.	食行身禄の立てた所謂「女人登拝解禁の高札」について	大	谷	正	幸	(立	1	E	大)
2.	セーラム魔女裁判にみる宗教と狂気	塩	尻	和	子	(日			大)
3.	サーラダー・デーヴィの神秘体験	堀	内。	みど	り	(天	Ð	1	大)
4.	ル・フォールにおける「女性」	八	木		博	(山	季	Ä	大)
5.	女子学生の宗教に関する心象と意識	荻	野	勝	行	(大	谷す	て 短	大)
6.	自我の内なる他者	土	井	道	子				
7.	蓮如と女性	柏	倉	明	裕	(大	1	4	大)
8.	神功皇后伝承と女性宗教者	中	村	恭	子	(川	村学	園女	(大)
	9月22日(日) 午後(13:00~15:40)								
1.	変貌する新宗教教団と地域社会-天地正教を事例として-	櫻	井	義	秀	(北			大)
2.	小集団運動と「社会の救済」	葛	西	賢	太	(上			大)
3.	戦後台湾における法制度と日系新宗教	藤	井	健	志	(学	7	芸	大)
4.	新宗教信者の平和主義を問う	口人	ベー	ト・キ	サラ	(南	. F	Ц	大)
5.	宗教研究における情報インフラ	宇	野	正	人	(江	戸川	女短	(大)
6.	Cyberspaceの宗教的活用-現状と可能性-	Ш	島	堅	_	(恵	泉女	学園	大)
7.	民俗的宗教性の次元	津	城	寛	文	(城	西目	国際	大)
8.	民間信仰とその周辺概念-戦前の動向を中心に-	鈴	木	岩	弓	(東	4	Ł	大)

# 本館・2 F配置図



### 渋谷キャンパス配置図

